

プランクトン調査結果のお知らせ

平成26年7月2日、午前10時から野見湾のプランクトン調査を行いましたので結果をお知らせします。

検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で16,200cells/ml確認され、被害が想定される濃度を越えていました。すでに被害が出ているようですので、十分に慎重な養殖管理をお願いします。

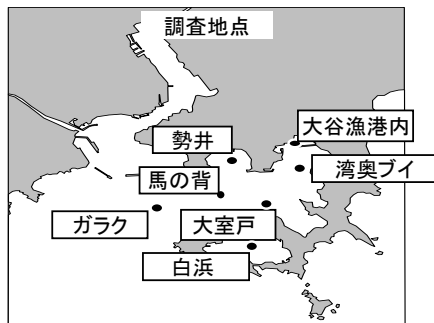
※当該プランクトンは上下に移動(日周鉛直移動)するため、午前中に潮色が良くても午後に着色する可能性があります。また、潮流や風でも移動し、集積する可能性があります。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	備考 クロロフィル濃度 ($\mu\text{g/L}$)
湾奥ブイ 透明度: 2.8m	0m	23	1.7
	2m	355	19.3
	3m	14,850	117.8
	3.5m	16,200	未測定
	5m	7,750	21.0
大室戸 透明度: 4.1m	0m	4	未測定
	2m	22	
	5m	500	
白浜 透明度: 4.9m	0m	22	1.1
	2m	99	2.4
	5m	1,920	23.9
	8m	1,820	28.5

		カレニア・ミキモトイ	備考
馬の背 透明度: 5.7m	0m	8	
	2m	18	
	5m	40	
ガラク 透明度: 4.9m	0m	3	
	2m	6	
大谷漁港内 透明度: 3.4m	0m	28	
	2m	150	
	5m	5,400	
勢井 透明度: 4.1m	0m	4	
	2m	24	
	5m	590	
馬の背3番	0m	7,200	



漁業被害が想定される細胞密度
●カレニア・ミキモトイ(へい死): 数百~数千cells/ml

「プランクトン調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>